

○ 1 番（吉川慶一君）

消防団の方は日々ご協力をいただくことを感謝申し上げます。また、職員も一生懸命されていることを重ねてお礼申し上げますが、ひとつ健康管理に十分留意していただいて市民の防犯並び、火の用心にご尽力をいただきたいことをお願いしまして一般質問を終わります。

ありがとうございました。

○ 議長（倉又 稔君）

以上で吉川議員の質問が終わりました。

関連質問はありませんか。

〔「なし」と呼ぶものあり〕

○ 議長（倉又 稔君）

関連質問なしと認めます。

次に保坂悟議員。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○ 議長（倉又 稔君）

保坂議員。〔 6 番 保坂 悟君登壇〕

○ 6 番（保坂 悟君）

公明党の保坂悟でございます。発言通告書に基づき 1 回目の質問を行います。

1、高齢者と障がい者の支援について。

(1) 一人暮らしや高齢者世帯の救急医療情報キットについて。

平成 24 年 3 月定例会より、冷蔵庫保管型ボトルタイプの実施を求めてまいりました。画期的な手法と考えますがどうか。

消防署と医療機関との情報連携のため医療情報の電子化はどうか。

医療情報にリビングウィルの項目を設けてはどうか。

(2) 障がい者支援について。

「大活字本」が日常用具給付制度の対象となったことの周知とその図書の導入状況はどうか。

ガンによる喉頭摘出者に対する「人口鼻」購入費補助はどうか。

読み書き（代読・代筆）支援者の養成状況はどうか。

内部障がいの方を支援する「ハートプラスマーク」の普及とそのバッチの配布はどうか。

(3) 糸魚川版総活躍社会支援について。

空き施設や空きスペースを活用した高齢者学校の設置はどうか。

高齢者の知恵と技術と人脈を生かす人材バンクの設置はどうか。

高齢者による「身の丈産業」の育成支援はどうか。

糸魚川版 C C R C の推進はどうか。

2、糸魚川ジオパークについて。

(1) ジオパーク戦略プランについて、平成 27 年度が目標年度になります。基本目標の達成見込みと戦略プランの成果についてわかりやすい説明を求めます。

世界ジオパークの認定を活かした取り組みの成果はどうか。

新幹線開業前後の戦略効果はどうか。

ジオサイトのある地域の活性化とその継続性はどうか。

宿泊・飲食・インバウンド等の観光産業の進行状況はどうか。

ジオ学や防災学等の学術的交流の推進成果はどうか。

(2) ジオパークのユネスコ正式事業化に伴う戦略について。

「ジオパーク」が「世界遺産」と同格事業となったことをチャンスと捉えて、ジオパークの価値創造を積極的に行う必要があります。そこで以下の点について伺います。

今後の宣伝戦略はどうか。

今後の誘客戦略はどうか。

国県立の施設誘致戦略はどうか。

ジオパークに対する市民の意識向上戦略はどうか。

糸魚川市を日本のジオパークの聖地化戦略はどうか。

3、子育て支援について。

平成25年6月定例会一般質問で「親から子への貧困の連鎖」について伺いましたが、最近親子間での悲惨な事件・事故の報道が絶えません。そこで以下の項目について伺います。

(1) 経済的貧困家庭の子ども支援について。

(2) アダルトチルドレンの実態調査と支援について。

(3) 虐待・育児放棄・暴力のある家庭への支援について。

(4) いじめの対策と支援について。

加害者とその家族への指導や対応はどうか。

被害者とその家族への支援や対応はどうか。

学校等の教職員の負担軽減策と孤立防止策はどうか。

学校等の移動時の引き継ぎの仕組みはどうか。

(5) いじめやトラブルの早期発見策について。

「いじめを刺す・正義のチクリ箱」の設置はどうか。

「いじめ発見チェックリスト」の作成と全戸配付はどうか。

「虐待・育児放棄・暴力110番」の設置はどうか。

協力者（告発者）の保護についてはどうか。

(6) 父子手帳の導入について。

4、特色ある（稼ぐ）まちづくりについて。

平成25年3月と6月定例会一般質問でも同様の項目を伺っておりますが、改めて地方創生に必要と考えますので伺います。

(1) 行政による特色ある事業戦略について。

リサイクルポートを活かす「エコパークいずもざき」のような広域施設の誘致はどうか。

少子化に伴いニーズが高まる公営墓地公園や樹林墓地の設置はどうか。また、家族化しているペットの墓園併設などはどうか。

公共施設と商業施設の複合化や公共施設に民間経営方式の導入などの検討はどうか。

地域にあるエネルギー資源の活用と研究調査はどうか。

(2) 高齢者による特色あるグループ作りについて。

高齢者による生産・加工・販売の体制支援はどうか。

高齢者の技術・人脈・能力を活かすビジネス機関の設置はどうか。

(3) 地域が稼ぐ観光戦略について。

世界ジオパークと新幹線開業で、観光客にどこで、何に、どのようにお金を使っていただくのか。
また、その体制やシステムづくりはどうか。

以上で1回目の質問を終わります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

米田市長。

○市長（米田 徹君）

保坂議員のご質問にお答えいたします。

1番目の1点目の1つ目につきましては、適切な管理や情報更新のこれに問題があり、今のところ実施は考えておりません。

2つ目につきましては、市内の救急医療の中核である系魚川総合病院でのカルテの電子化は、費用等の課題があり進んでおりません。

3つ目につきましては、市として実施する考えはありません。

2点目の1つ目と2つ目につきましては、今後補助対象とする方向で検討してまいります。

3つ目につきましては、音声訳奉仕員の講座が開催されており、新たに5名が朗読ボランティアとして活動いただいております。

4つ目につきましては、関係団体と協議してまいります。

3点目の1つ目につきましては、現在各地域で公民館活動や老人クラブ活動、ふれあいいきいきサロンなどを行っており、それらの活動に参加し、交流といきがいくりに役立てていきたいと考えております。

2つ目と3つ目につきましては、シルバー人材センターや社会福祉協議会の各種ボランティア団体に登録をしていただき、高齢者の知恵や技術等を生かしていきたいと考えております。

4つ目につきましては、総合戦略の中で調査を進めております。

2番目の1点目の1つ目と2つ目につきましては、世界ジオパークへの認定以後、フォッサマグナミュージアムへの入館者数は1.5倍となっており、本年度は新幹線開業やリニューアルの効果などもあり、既に9万人を超える入館者数となっております。

3つ目につきましては、小滝地区などではジオサイトの保全活動とともにジオパークを生かした地域活性化のイベントなどを継続的に実施いただいております。

4つ目につきましては、市内12の温泉旅館では9月末時点で昨年を上回っており、駅周辺においてはランチの提供や日曜営業を行う店舗も増加しております。また、インバウンド観光客についても民間による誘客活動の成果が徐々に上がってきており、増加傾向にあります。今後も連携をしながら受け入れ体制の整備を進めてまいります。

5つ目につきましては、子ども一貫教育方針に位置づけられたジオ学習に基づき、各学校で取り組んでおり、今年もジオ学習交流会が行われております。今後も大学や地域・学校との連携により

ふるさとに愛着と誇りを持てる子供たちの育成に努めてまいります。

2点目の1つ目と2つ目につきましては、ユネスコの正式事業化により糸魚川世界ジオパークの価値をさらに高め、日本ジオパークネットワーク及び他のユネスコ世界ジオパーク地域と連携をし、誘客宣伝に努めてまいります。

3つ目につきましては、現時点では国・県立の施設誘致は難しいと考えており、市内の施設を有効に活用する中で国や県・大学などの連携をし、ジオパークの取り組みを推進してまいります。

4つ目につきましては、ユネスコ正式事業化としてジオパークの価値が世界に認められたということで広報やホームページ、イベントなどで広く周知してまいります。

5点目につきましては、日本で最初の世界ジオパークとして他の地域を積極的に先導することで、日本ジオパークの中核となるよう取り組んでまいります。

3番目の子育て支援についてのご質問につきましては、この後教育長から答弁いたしますのでよろしく願いいたします。

4番目の1点目の1つ目につきましては、エコパークいずもぎさのような広域施設の誘致は考えておりませんが、姫川港につきましては、日本海側3港のリサイクルポートとの連携により、静脈物流の機能を担っており、今後とも機能強化を目指してまいります。

2つ目につきましては、地域住民の理解と合意が必要であり、市で設置することは考えておりません。

3つ目につきましては、公共施設など総合管理指針に基づき状況に応じて検討してまいります。

4つ目につきましては、新エネルギービジョンに基づき小水力発電と地熱発電の可能性調査を行っております。

2点目につきましては、JAや森林組合、シルバー人材センターなどの団体や、関係機関と連携をして高齢者の技術や機能を生かす取り組みを支援してまいります。

3点目につきましては、見る・食べる・学ぶ・泊まる・買うといったお客さんのニーズに応じて受け入れ態勢の充実と積極的なPR活動を観光協会や関連事業者と連携をしながら進めてまいります。

以上ご質問にお答えしましたが、再度のご質問によりましては、所管の部課長からの答弁もありますのでよろしくお願い申し上げます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

竹田教育長。〔教育長 竹田正光君登壇〕

○教育長（竹田正光君）

保坂議員のご質問にお答えいたします。

3番目の1点目につきましては、児童扶養手当の支給や保育料の軽減、就学援助制度による学用品等購入費の一部助成を実施しております。

2点目につきましては、実態調査は実施しておりませんが、機能不全家庭で育ったことにより、大人になっても生きづらい、そういう悩みを抱えている方には関係機関と連携し、相談や支援に努めております。

3点目につきましては、こども課を相談の窓口とし、児童相談所や警察、医療機関と連携をし、

子供と保護者への支援を行っております。

4点目の1つ目につきましては、加害者からいじめを行った理由を聞き取り、いじめは許されないことを指導しております。

次に、加害者の保護者へいじめに関する人権教育と適切な指導を行うように、指導支援を行っております。

2つ目につきましては、被害者の保護者へ事実関係を伝えるとともに、いじめを受けた児童生徒の適切なケアと保護できる態勢を整えております。

3つ目につきましては、学校内では校長を中心とし、いじめ、またはいじめの疑いのある案件について情報の共有を図り、学校全体での取り組みを図っております。

4つ目につきましては、教職員の異動、またクラス替えの場合においても児童生徒の状況は適切に引き継ぎを行っております。

5点目の1つ目につきましては、早期発見のため、定期的なアンケートや教育相談体制の充実を図っております。また、児童生徒から不安や悩みを投函できる仕組みも既に行っております。

2つ目につきましては、県教育委員会のいじめのチェックリストを児童生徒保護者宛に配布しております。いじめの早期発見には周りにいる保護者・友達・学校がいち早くその変化に気づくことが重要であることから、今後も児童生徒や保護者との情報共有に努めてまいります。

3つ目につきましては、こども課を相談窓口としており、今後窓口を一層周知するとともに、相談体制を強化してまいります。

4つ目につきましては、協力者との信頼関係が重要なことから秘密を守り、協力者がいじめ等の被害者とならないよう最大限の配慮を行っているところです。

6点目につきましては、妊娠届出時に母子衛生研究会発行の父親のための子育て読本などを配布し、育児に活用いただいております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

保坂議員。

○6番（保坂 悟君）

よろしくお願いします。順番を3番目の子育て支援についてから始めさせていただきます。子供の貧困率については、皆さんも御存じかと思いますが、子供の貧困率は厚生労働省の調査によるとおよそ6人に1人が貧困になっているという状況が報告されております。そこで経済的貧困とこの日本の就業に対する社会システム、また、昭和の男女の性差や役割の価値観などの社会的風潮などにより、一生懸命貧困からはい上がろうとしておられるんでしょうけどもなかなかそれができないという現実がございます。

そこで3点、あるんですけども、1番目にまず困窮している人を追い詰める自己責任論、2番目には家庭内のことは家族で解決するんだという風潮、あともう1点、貧困の子供が高等教育を受けづらい現状がございます。こういったものについての今後行政からそういう方への支援というかこういう風潮があることに対する、雰囲気を変えていくような働きかけが必要かと思うんですが、その辺の考え方、取り組み方を伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

竹之内教育次長。〔教育次長 竹之内 豊君登壇〕

○教育次長（竹之内 豊君）

平成26年8月に子供の貧困対策に関する大綱が示されまして、その中にも貧困が世代間連鎖している現況を解消するための目標等が設定されております。当市におきましても、今議員ご指摘のように自己の責任であるというような風潮、あるいは家族で解決すべきであるというようなことにとどまらないよう、私ども相談体制を課の中で児童家庭相談員、課の中では3名、能生地域で1名を配置し、専用電話等も設置してございますので、何かあればすぐにそちらへご相談をいただくということによってそれらを解決していきたい、また、高等教育の面につきましては、就学援助制度等により、高等学校、あるいは志のある方についてはその上部学校への進学についても行けるような社会の環境を整えることが必要だというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

保坂議員。

○6番（保坂 悟君）

ぜひ、そういう今の言われたことをもっともっと周知をしていただいて、先ほど言ったいろんな風潮というのを払拭していただきたいと思います。

今度（2）アダルトチルドレンの実態調査ということで、現実的にはアダルトチルドレンといってもさまざまなタイプがございます。それを一概に解決するということとはできないんですが、保護者自身がアダルトチルドレンという自覚がないことが多らしく、その家庭内の常識としてその子供がその親の中で育っていく、それでまた負の連鎖で似たような感覚をどうしても引きずっていつてしまう、となるとどこでそれを断ち切ってあげたらいいのかと考えた場合に、やはり子供に接する周りの大人であったりとか、学校の教員、保育園の先生方がそういうところに少しでも早期に見つけてあげるといのか、対応してあげないといけないと思うんですが、具体的にはこういうところの手だてといのかその辺はどのようにされているのかお伺いしたいんですけども。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

竹之内教育次長。〔教育次長 竹之内 豊君登壇〕

○教育次長（竹之内 豊君）

ご指摘のアダルトチルドレンという定義につきましては、あくまでも個人としての自覚の問題であって、病名であったり、あるいはそういう症状がどうかという定義がございませんので、治療とかいうものが存在するわけではございません。したがって、相談のときにその親がどのような環境で育ったかということも丁寧に聞き取りながら、それを子供に引き継ぐことのないようにというふうな子育て支援をさせていただいているところでございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

保坂議員。

○ 6 番（保坂 悟君）

今次長のほうから言われたようになかなか定義がない、またその治療という形でもないというものなんですけども、ただ、多分に子供に与える影響が大きいということは事実でして、そういう点をぜひ行政というか地域全体でそういう子を見かけたら励ましてあげたりとか、いわゆるしつけっ
ていいんですけども、しつけができない親に育てられているからしつけができないんであって、子供は何も悪くないんですけども、結果的にそうになってしまうという現状が現実問題あるもんですから、そういったところを周りで育むような雰囲気づくりもぜひ私は必要かと思っておりますので、その辺も先ほどの貧困家庭と同じような周りの空気感を、そういう子を温かく見守っていくような周知をぜひお願いしたいと思います。これは要望にさせていただきます。お願いします。

次に（３）番、虐待・育児放棄・暴力などの家庭の支援とあります。今回この質問を取り上げたのは皆さんも記憶に新しいと思うんですが、２歳児の子供にたばこを吸わせる父親のニュースがございました。それから両親がゲームをしているときに子供がうるさいと言って、ごみ箱に子供を入れて、その上からごみ箱のふたをした、それで窒息死させたというニュースがございました。こういうのを聞くと本当に怒りと疑問で頭がいっぱいになるんですが、やはり家族内のことでなかなか外に見えない。こういったものに対して、糸魚川にあるというわけじゃないんですが、世間に余りにもこういう事故・事件のニュースが多いものですから、こういったものに対する啓発活動とい
いますか、注意を促すとかそういったところが私は必要ではないかと思っておりますし、年に１回青少年問題協議会で糸魚川市のいろんな問題点も取り上げて議論されているようなんですが、その
辺の対応とか周知とかの取り組みについて、今現在どのような取り組みをされているとか、また今後
どういうふうにしていくのか、その辺ちょっと教えていただきたいと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

竹之内教育次長。〔教育次長 竹之内 豊君登壇〕

○教育次長（竹之内 豊君）

おっしゃるように、児童家庭相談の中でも要保護児童にかかわる相談件数、これは虐待も含めて
でございますが、そういった通報であったり、相談であったりという件数の比率が高くなってきて
いることは事実でございます。今ほど青少年問題協議会というふうなお話もございました。加えて
言いますと、相談だけでは解決しないということでございますので、具体的には児童相談所から介
入していただくというケースもございますし、また警察・医療機関・あるいは人権の担当部署、そ
ういった法務局でありますね、そういったところとの連携というものが、県の保健所ももちろんそ
うでございますが、そういったところの関係機関とのすぐ通報、一緒に動くという態勢が必要でござ
いますので、要保護児童対策協議会というところで情報交換をしながら、いざというときには連
携できるような仕組みづくりを現在もとっておるところでございます。

以上でございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

保坂議員。

○ 6 番（保坂 悟君）

まさに今の2つの例もそうなんですが、今まで考えられないような事件・事故というのが起きてきますんで、前例にとらわれない柔軟な対応をぜひお願いしたいと思います。

続きまして(4)番、いじめの対策についてであります。、にかかわるんですが、つい最近、信頼のおける方からの情報で、糸魚川中学校で3年生の間に2ついじめがあるということを伺いました。1件目は11月20日に判明し、もう1件は11月30日か12月1日に判明しているそうです。2件とも加害者が同じで6人グループだということまではお伺いしているんですが、そういった情報は市長のほうに報告が上がっているんでしょうか。その辺まずちょっと確認のためお願いいたします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長(倉又 稔君)

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長(米田 徹君)

お答えいたします。承知しております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長(倉又 稔君)

保坂議員。

○6番(保坂 悟君)

市長はもう、教育委員会のトップということで情報が早く伝わったかと思います。それで佐藤教育委員長にはこの報告がいて、何かこう指示とか対応とかが出ておられるのか、そのところお伺いいたします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長(倉又 稔君)

竹田教育長。〔教育長 竹田正光君登壇〕

○教育長(竹田正光君)

お答えいたします。この件についても連絡はきちんとしておりますし、近々臨時の教育委員会も開かなければいけないという方向で現在考えているところです。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長(倉又 稔君)

保坂議員。

○6番(保坂 悟君)

このいじめ自体の中身が、以前からの問題になっている平成25年の系中のいじめの件の被害者が、この2件の6人グループがいじめたというのが、その被害者が同じなんです。こういった場合は新しい案件とするのか、重大事案とするのかその辺の解釈で対応が違ってくると思うんですが、私は重大事案かなと思って聞いたんですが、その辺今まだこれから話し合っというんですが、その辺の対応、どういう解釈をされているのかちょっとお伺いします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長(倉又 稔君)

山本こども教育課長。〔教育委員会こども教育課長 山本 修君登壇〕

○教育委員会こども教育課長（山本 修君）

議員のご質問にお答えをいたします。本事案につきましては、また加害の生徒が違いますので、加害の生徒がまたその生徒にいじめということでありますので、また別の事案として考えております。それぞれのことににつきまして今ちょうど事情聴取を加害・被害の生徒、また保護者にお話を聞いている最中で、対応した子と、そして教育委員会も一緒に対応している最中でございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

保坂議員。

○6番（保坂 悟君）

その話を聞いたとき、特にその被害者が同じということで、要は25年の問題があって、今年の4月にいじめ防止条例とかいろんな法整備、対策整備をやってきた中で、まして同じ学校でこういう事案が出てきたということで、正直物すごくショックを受けているんです。各委員会でもいろいろ教育委員会の報告とか受けていく中でこういうことがあったというのは大変残念なんです、この再発防止策というところで、機能しているのかというところで疑問を持ってしまうんですね。その辺は新しい加害者だからという言い方もあるんでしょうが、少なくともその学校においては慎重に、またさらに慎重に対応してきているはずだと思うんですが、なぜこうなったのか、今のこの時点で結構ですけど分析をどのようにされているのかお伺いをいたします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

山本こども教育課長。〔教育委員会こども教育課長 山本 修君登壇〕

○教育委員会こども教育課長（山本 修君）

いじめは人権にかかわる問題ですし、そして命にもかかわる重大な問題です。こういったことが再発をしてしまったということを非常に重く受けとめています。再発防止策を取り組んでいたにもかかわらずこのようなことになってしまったこと、生徒に、そして保護者に非常に負担をかけてしまったこと、大変申しわけなく思っています。学校も一生懸命取り組みを進めておりましたが、残念ながらこのような結果となってしまいました。まず、教職員の人権意識を高めるということが一番かと思っています。先日教育長が該当校に参りまして、教職員全体に対して訓示をしております。それには人権意識を高めるように、子供たちを眺めるアンテナを高く張るようにという指導を行っておりますし、いじめ重大事態が発生しているということについて強く認識をするようにということを指導してきたところであります。子供たちの心に落ちるような指導が十分でなかったということが再発をしてしまったということの大きな原因かというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

保坂議員。

○6番（保坂 悟君）

ここで今このことについて深くする時間もないんですけども、この2件について総務文教常任委員会のほうできちんと所管事項として取り上げる考えなのかどうか、確認お願いいたします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

山本こども教育課長。〔教育委員会こども教育課長 山本 修君登壇〕

○教育委員会こども教育課長（山本 修君）

そのように総務文教常任委員会の正副委員長協議でお願いをしてあります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

保坂議員。

○6番（保坂 悟君）

そうしましたら総務文教常任委員会のほうできちんと時系列でまた報告していただいて、慎重審査をしていただきたいと思います。先ほどいじめの対策の支援のところでは被害者とその家族への支援の対応はどうかといったら、家族には態勢としては整っているという話だったんですが、結果的に整っていませんよね。支援できていないですよ。結局そういう被害に遭ってる。また、学校に今みたいな注意もずっとしてこられたんだと思うんですね、で治ってないと。そこが多分問題だと思いますので、今度 になるんですが、学校の教職員の負担軽減策という、また孤立防止という表現を使ったんですが、教職員が子供にかかる時間を確保するために教員のアシスタント制を導入したりとか、時代の変化によって先生方の威厳が保てなくなった今、特にクラス担任の教職員において生徒・保護者・学校の板挟みになっているんじゃないかと。そういったことがほかの自治体でも上がってるんですが、そういった大きな問題を1人で抱えている、また、サポートできる態勢ができていないために、こういう目こぼしというか子供たちのもやもや感とかいうのが見抜けなくて、結局いじめを誘発しているんじゃないかという解釈から、もうちょっと教職員に対して時間的に人的にサポートできる仕組みというのを、糸魚川市で考えればいいのか県で考えればいいのか微妙ですが、できることは取り組むべきかと思うんですが、その辺の考え方はいかがなものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

山本こども教育課長。〔教育委員会こども教育課長 山本 修君登壇〕

○教育委員会こども教育課長（山本 修君）

教職員も大変一生懸命取り組んでいますが、委員おっしゃるように、非常に事務的な仕事も大変多くなっており、多忙化しているのは事実だと思います。教職員の多忙化、そして多忙感ということも大きな問題となっております。県の教育委員会でも多忙化の解消プログラムということについて取り組んでおりまして、学校ごとにそのプランを設けて取り組むということになっております。ある学校ではコンピューターを活用することによって、事務量を軽減するというようなことですか、会議を縮小するとかというようなことで、いろいろな工夫を各学校でとっているところであります。いじめに関しましても学習指導につきましても、1人で抱え込まないということが一番大事かと思っています。学年部会ですとか、教科部会ですとかというところで教職員同士がお互いに情報交換し、助け合ってみんなで学習指導や生徒指導に立ち向かっていくということが結果的に負担軽減にもなりますし、児童生徒を助けるということにもなると考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

保坂議員。

○6番（保坂 悟君）

ちょっとニュアンスが伝わっていなかったのかもしれませんが、今現在そういう努力をされて、それで時間的に労力的にいっぱいいっぱいになっているんじゃないかと思うんですね。それでこういういじめとかも出てきているんじゃないかと。だから時限的であってもサポートしてあげる、要は教員免許がないに、もしなければ雑務的なことの援助、教職員の免許があれば教材とかそういうものを見る支援とか、具体的に支援をしてあげて、時間を確保してあげて子供に目を向けさせていくという取り組みが今必要なんじゃないかということで伺った。多分努力されていることはかなり努力されていると思うんですが、そういった態勢づくりはどうかということなんですがいかがなものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

山本こども教育課長。〔教育委員会こども教育課長 山本 修君登壇〕

○教育委員会こども教育課長（山本 修君）

失礼をいたしました。教育補助員も配置をしておりますが、今年度は中学校の学力向上事業として教員のOBの方にお手伝いをしていただいています。そういった方々も学習指導に手伝っていただきますので、そういった点では多忙化の解消には役立てていただけるのではないかなと思っていますが、まだ十分な多忙化解消には至っていないかと思しますので、また人的な配置のことにつきましても検討していきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

保坂議員。

○6番（保坂 悟君）

少なくともいじめが出てこないというか、減少する方向になるまでそういった補強は必要かと思っていますので検討をお願いいたします。

続きまして、学校等の異動時における引き継ぎの仕組みについてであります。私正直よくわかっていないんですが、学校の先生が担当した子供たちの情報の引き継ぎについては、決まったマニュアルみたいなものがあって、包み隠さずいじめがあったこととか、いろんなこと、きちんと引き継ぎとかできているものなんでしょうか。それとも異動の発表が出てばたばたした中でなかなかそこまでは現実的にできていないのか、その辺の感覚的なものになっちゃいますけど、本当は一番マニュアルがあって、規格があってこれで書いて出すというのが1番いいんでしょうけど、そういう仕組みというのはできているのかどうかその辺ちょっと教えてください。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

山本こども教育課長。〔教育委員会こども教育課長 山本 修君登壇〕

○教育委員会こども教育課長（山本 修君）

児童生徒の引き継ぎについてですが、市で共通したマニュアルというものはありませんが、各学

校で児童生徒の引き継ぎは確実に行われております。中学校では生徒の状況につきまして、当該年度の最初に生徒理解研修を行って、職員全体で共通理解を図っておりますし、小学校におきまして、年度末に引き継ぎは確実にされております。小・中の引き継ぎということにつきましても、進学における児童のかかわりにつきましては継続した指導が図られますように相互で確認をしております。ですが、中学校になりますと不登校の数ですとかというのがふえてくるのは統計的に見ても事実としてありますので、今後これからまた年度末にもなっていますが、確実な引き継ぎが実施されますように指導していきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

保坂議員。

○6番（保坂 悟君）

いじめとか、いじめに至る手前ぐらいの兆候とかもある場合もございますので、その辺はきちんと情報伝達をして、子供たちが嫌な思いをしないようにぜひよろしくお願いいたします。

次に、いじめやトラブルの早期発見であります。ちょっと言葉は、いじめを刺す正義のチクリ箱と言ったんですが、今回市長が教育委員会のトップになったことも踏まえまして、教育委員会にはさまざまな給食の問題だとか、政治的中立な教育職員の問題だとか、今のいじめの問題とかいろいろあるんですけども、その辺の市民から見た信頼性という部分もあるんで、できればこういうチクリ箱という言葉があれなんですけども、これは刺すほうのチクリのほうのチクリなんで誤解してほしくないんですけども、ダイレクトに市長のところにいろんな情報が集まるような目安箱的なものを、それは箱といっても電子メールでも結構でしょうし、封書でもいいと思うんですね。はがきでもいいと思う。今市長の直通便みたいな形でいろんな行政の提案もあるんですが、やっぱりこういうコアな個々のいじめの問題だとか、家庭内の暴力とかいろいろあるんですけども、そういったものもある程度市長のところに直結した形で情報が上がってくる、そういう目安箱的な仕組みというものは、私は必要かと思うんですが、その辺の考えいかなものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

金子総務部長。〔総務部長 金子裕彦君登壇〕

○総務部長（金子裕彦君）

お答えいたします。直接いろんな話ということになれば、市長への意見といいますか、市長への便りという形で、その中では提案もあれば、今のように課題・問題、発生している現地でのいろんな苦情、そういうものも受けております。また、総務課を窓口にして通報制度もございますので、そういう中で実際に上がってきている状況もあります。そういう中で対応させていただきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

保坂議員。

○6番（保坂 悟君）

本当に言いにくいんですけども、今教育委員会の信頼性・信用性というものが、私は落ちている

と思っているんです。いろんな委員会の発言とか聞かせてもらおうと。であるならば、全国的にもそういう風潮があって首長が教育委員会の監視役というか、そういう意味で登用されているかと思うので、市長への直通便でもいいですね。であれば教育問題についても、いじめの問題についても、また教育委員会で起こっていることについても市長のところに声が直接行くっていうことを周知して、そういうシステムをつくっていただきたいんですが、その辺いかがなものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。私のところへ来るのは本当に限界を設けてごさいませんので、なんでもいいわけではありますが、今議員ご指摘のように、そういったところは行政だからだめだという感覚でおられるのもあるのかもしれませんが。その辺の広報などもしっかりと、教育関係もいいですよというようなところを周知することも必要かなと考えるわけでありまして、また学校単位の中においてもそういう箱が置いてある学校もあるわけでございまして、そういう取り組みをしていることも事実でございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

保坂議員。

○6番（保坂 悟君）

結局情報を投稿するって信頼関係だと思いますし、信頼に値するから、またその方に救ってもらいたいから情報を提供するわけですから、そこをしっかりとくんであげるような仕組み、市民を安心させてあげる仕組みという意味で、市長直結の仕組みがあってもいいなと思っておりますので、ぜひその周知をお願いしたいと思います。

次に、さっき虐待・育児放棄・暴力110番の設置と言ったんですが、調べてみますと全国共通ダイヤル189番というのがあるそうなんですが、ここに電話するとその地域の児童相談所に行くというんですが、それもいいんですけども、やはり私も市長というふうに言ったんですが、やっぱり市で専門的に対応してすぐ動けるような、すぐ駆けつけれるような体制というのはできないかなという思いで今回載せたんですが、その辺の考えいかがなものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

竹之内教育次長。〔教育次長 竹之内 豊君登壇〕

○教育次長（竹之内 豊君）

先ほどの教育長答弁にもございましたが、こども課の子育て支援係の中におります3名の児童家庭相談員のところに専用ダイヤルを設けておりますが、なかなかその番号が市民の皆さんにお知らせが行き届いていないという点は深く反省しておりますので、ネーミングとその番号の周知を務めていきたいというふうに、今後早急に対応していきたいというふうに思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

保坂議員。

○6番（保坂 悟君）

ぜひお願いします。私もネットでの調査でしかないんですけど、全体に出てこないんですよね、そういうことが。それがすぐにダイレクトで出てくるようにお願いしたいと思います。

次に6番目、父子手帳の導入であります。これ全国で各自治体が行っている父子手帳と同じものというふうに解釈していいんですかね、この父親読本というのは。その辺の内容をお知らせください。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

竹之内教育次長。〔教育次長 竹之内 豊君登壇〕

○教育次長（竹之内 豊君）

ここに持ってきたんですが、こちらが議員のおっしゃる父子手帳で、隣の上越市でつくられているものでありますが、中身は書き込みできるページがわずかに、成長時の記録ですとか、母子手帳と同じような書き込みができるページが若干ついている、プラスお父さんの心構え、子育ての仕方、そういった育児の手引書が中心になっているかなというふうに見てとりました。

私ども糸魚川市は、この先ほど答弁にありました、公益財団法人母子衛生研究会発行の有料物なんですが、これを購入して第1子の妊娠届け出のときに、父親のための子育て読本ということで、非常にわかりやすく父親がどう育児にかかわっていけばいいかということ、わかりやすくイラスト入りでご紹介しているお薦めの本だということで、これを配布物の中に入れて役立てていただいているという状況でございます。もう1つは新潟県から無料の発行物で「これから新潟でパパになる方へ仕事と子育てを両立するための7つのことば」といったものもございますので、一緒にお渡しをさせていただいております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

保坂議員。

○6番（保坂 悟君）

これも私の安直な調べ方で、でも、出てこないんですね、ネットとかで調べていくと。子供の子育てブックというのは出てくるんですけど、出てこないんですね。

あともう1つ、1番言いたかったのは世間では育児にかかわるお父さんのことをイクメンとかって言って大分アピールしているんですが、その一方でやっぱり育児にかかわることに不安を抱えている父親、または産前産後の奥様の状態というのが、なかなか活字ではわかっていても、本当の奥様の妊婦時の状態だとか、出産後の状態だとかというのがなかなかわからないで、衝突し合うというケースもありますんで、やはりそういうところをケアする意味でも、きちんとそういうものが用意されているのであれば提示していただきたいですし、中身についても奥さんへのかかわり方だとか、子供の育てる協力のあり方だとかということもきちんと明記したもので提供すべきかなと思うんですが、その辺の考えいかなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

竹之内教育次長。〔教育次長 竹之内 豊君登壇〕

○教育次長（竹之内 豊君）

今議員ご指摘の活字、あるいは本を配っても読んでいただければそれまでということもございます。そこで、パパママタニティスクールということで、妊娠されたご夫婦そろってぜひおいでいただきまして、今後の心構え等について、保健師等から言葉で情報を提供するというふうな取り組みも並行してやっているところでございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

保坂議員。

○6番（保坂 悟君）

さらに要望になりますが、今分野は違うんですけど東京都の防災手帳というのが非常に人気があって、うけているという話があるんですけども、その中身を見るとやはり活字ばかりではなくてイラストだとか非常にわかりやすいものを掲載しているがために人気があるそうなんです。だからそういう子育てについてもわかりやすい絵であったりだとか、表現であったりだとか工夫したものを考慮していただきたいと、これは要望にさせていただきます。以上です。

次に大きい2番のほうへ移ります。糸魚川ジオパークについてであります。ジオパーク戦略プラン、前にこういう立派なものをつくってスタートしたわけなんです、もうじき目標年度終わるんですが、これについての分析したものを一覧にまとめてホームページに公表するとか、議会のほうに分析結果はこうでしたみたいなことをしていただきたいんですが、そういう考えはあるのかないのか、その辺伺いたいんですが。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

○交流観光課長（渡辺成剛君）

お答えします。27年度を目標にしまして、27年度の数値目標が出ております。27年度が終了した時点で、25年度どうだった、27年度どうだったといった形で公表していきたいと考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

保坂議員。

○6番（保坂 悟君）

ぜひよろしくお願いいたします。せっかくお金をかけて、建設産業常任委員会でも議論したプランでありまして、その結果がどうなったのか。分析した上で、また分析していく中で次の課題のジオパークのユネスコ正式事業化に伴うこの戦略というのが、私がいいものになっていくんじゃないかなと思ってまして、勝手にもう戦略プランのことを考えておりますけども、今回この世界ジオパ

ークの認定の価値を高める手段というものを、今回２回目なんですけども、どういう変化があってどういう効果が出ているのか、いま一度ちょっと教えていただきたいんですが。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

○交流観光課長（渡辺成剛君）

お答えします。ジオパークは３つの要素を中心に展開しております。保護保全、それから教育、そして地域振興という面であります。保護保全につきましては、例えば田海ヶ池で田沢小学校の皆さんが保護活動をするとかいった取り組みが広がっております。また、教育面におきましては、例えば学芸員が対応しました修学旅行・教育旅行の誘致では、ジオパーク前は５件だったものが、一昨年では３９件と８倍近くまでふえているということで、全国の子供たちの皆さんから糸魚川にお越しいただいているという現状がございます。それから地域振興におきましては、例えば小滝とか、あるいは駅周辺とかいった中でいろんな活動が見られますし、ジオパークガイドの皆さんが生き生きとした活動を展開していただいております。また糸魚川へ行きたいというアンケートが年々高まっているという状況であります。こういった中でいろんな活動が、取り組みが行われて成果が着実に出てきているものだというように認識しております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

保坂議員。

○６番（保坂 悟君）

こういうふうにじかにお話聞けばすごいな、すごい評価が高いなというふうに思うんですけど、客観視するものがなくて、そこが非常に難しいところかなというふうに思っております。今回この正式事業化に伴って、国内外の人々にとって、世界遺産というのは非常にわかりやすく浸透性があるんですけど、世界ジオパークは私から見ると、今みたいに説明をしっかりと受ければわかるけれども、世界遺産に比べてぱっと見たときにわかりにくいと。そういう部分で地域の文化、地質、産業、いろんな多岐にわたっているこのジオパークを、どう今度広く宣伝していくのか、できましたら糸魚川市のこの強烈な印象を与える写真とか映像を作成して、国内外のガイドブックの会社に売り込んでもらいたいんですが、そういう考えというのは持っておられるのかどうかお伺いします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

○交流観光課長（渡辺成剛君）

先日も「We Love Japan」といった取り組みで北海道から、そして沖縄からといって糸魚川でゴールするというイベントがございました。こういったイベントも世界ジオパーク糸魚川ということで、いろんな機関が連携して進めてもらっていると思います。こういう機会を捉えながら今ご指摘の海外への戦略といったもの、海外への取り組みというのを今もやっておりますが、今後も進めていきたいというように考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

保坂議員。

○6番（保坂 悟君）

一番大事な国内外のガイドブックの会社に直接アピールをしてもらいたいんですね。特に外国のガイドブックに載ることが観光戦略で非常に大事だと言われているものですから、その辺の取り組みはどうかという質問です。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

○交流観光課長（渡辺成剛君）

お答えします。外国でのPRとかいうことで、世界でよく読まれている雑誌等に今アタックをしているところであります。なかなか広告料が高いということで難しいところなんですけども、外国人が日本に来た場合に、ほとんどの方が見るというサイトがございます。ここへは「We Love Japan」の中の会社の社長がこの中にも参画しております。先日もブロガーが糸魚川に来て情報発信をしてくれております。そういった取り組みを広げる中で、より効果的に世界へ情報を発信できるような取り組みを進めていきたいというように考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

保坂議員。

○6番（保坂 悟君）

ぜひよろしくお願いします。もう1点、その宣伝戦略でやっていただきたいのがメディア戦略であります。自己満足の宣伝ではなくて、糸魚川や世界ジオパークを知らない人にも知らせるということを考えた場合、お金が高くつくんですが、やはり有名な芸能人であったりとか、タレントさんであったりとか、コアな分野のたけた人だとか、そういう人を媒体にして糸魚川のジオパークを知ってもらおうというのは、非常に私は知らない人に知らせるには一番大事だと思います。例えばマツコデラックスさんみたいな方がジオパークを歩いてもらうだけでも、かなりインパクトがあると。歩いてくださるかどうかは別としてですけども。要はその入り口が、ジオパークで攻めるのではなくて、違うところからの入り口で糸魚川のジオパークの魅力を知ってもらおうというところに着眼を置いて、近いところでは上越市の謙信公祭のGACKTさんで、それもかなりお金かかって、何年かやったら手を引くということもあるんですが、でも、やった期間の価値というのは私はあると思うので、この糸魚川ジオパーク、戦略的にはあまり好きじゃないかもしれませんが、でも知らない人に知らせるということは非常に大事だと思うので、そういった取り組みを検討していただきたいんですけども、その辺いかなるものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

○交流観光課長（渡辺成剛君）

お答えします。今ジオパーク活動を進める中で、知らない人に知ってもらおうというのが一番の課

+

題だというふうに思っております。その中で有名な方を使うというのは非常に有効なことだと思っております。現状では、例えばジオパーク大使の伊藤聡子さんが毎月出るテレビの字幕スーパーの中に糸魚川ジオパークというのが全国版では出ていたりしております。また川合俊一さん、それから永井大さんをお願いしたビデオも制作しております。今後こういった取り組みを深める中で、費用対効果も考えながら、議員ご提案の部分も検討しながら、よりジオパークを知ってもらい取り組みを進めたいというように思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

保坂議員。

○6番（保坂 悟君）

そうなんですね、やっぱり費用対効果でお金がかかるものであります。であればこそ、やっぱり短期集中といいますか、よく市長が言われます選択と集中の、その集中のほうですけども、この1点にかけるぐらいの思いで、多少のお金を使ってでも、そのインパクトで世界ジオパーク糸魚川というものを知ってもらい企画・戦略というものをぜひ立てて取り組んでいただきたいことを要望しておきます。よろしくお願いします。

次に、誘客戦略であります。いつも聞かせてもらっていますが、今後ユネスコ正式事業化に伴って、外国人対応・高齢者対応・障害者対応・子供へのアプローチについて何か特にアプローチをかける戦略というのは今考えているのでしょうか。また今後どういう取り組みを行うのでしょうか。その辺をお伺いします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

○交流観光課長（渡辺成剛君）

お答えします。インバウンドにつきましては、今香港ジオパークとの交流を深める中で、香港から子供たちが2カ年にわたってお越しいただいております。また、台湾からお越しいただいているといったことがあります。これを中心に、ぜひ今年・来年に向けて教育旅行のインバウンドを広げていきたいなというように考えております。

それから子供につきましては、やはり子供を通じて大人の皆さんにもジオパークを知ってもらいという取り組みが必要だと考えております。今ジオパルでも幾つかイベントをやっておりますが、今後も子供を通じてジオパークを知ってもらいような体験メニューとか、体験の取り組みといったものを深めていきたいというように考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

保坂議員。

○6番（保坂 悟君）

ちょっと高齢者と障害者がなかったのが残念だったんですが、次に海のないところ、雪のないところ、山のないところ、田園のないところというターゲットのアプローチの仕方というのは何か考えておられますか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

○交流観光課長（渡辺成剛君）

議員ご指摘のとおり、差別化というのが非常に重要なポイントになっていくと思います。海のあ
る糸魚川にとっては海のない長野県、今北アルプス日本海広域観光連携会議をやっておりますが、
その大きな特徴はやはり白馬村さんに海がないということであります。こういった取り組みをした
いと考えており、さらに連携を深めたいと思っておりますし、金沢につきましても、金沢が文化的
体験というのならば、糸魚川は自然体験ということで差別化をしていきたいというように思ってお
ります。いずれにしても幾つか項目挙げていただきましたけども、糸魚川の差別化を図りながら、
糸魚川にたくさんのお客さんからお越しいただくといった取り組みを進めてまいりたいと考えてお
ります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

保坂議員。

○6番（保坂 悟君）

ぜひその差別化で、特徴ある戦略プランをお願いしたいと思います。

次に の国県立の施設誘致の戦略であります。市長のご努力で国会議員の議員連盟ができたりと
かいろいろされておるんですが、この国会議員とか県会議員の力を積極的に借りて、初代世界ジオ
パークの認定地の島原、糸魚川、洞爺湖、この3つは、私は本当にジオパークのパイオニアだと自
負していいと思ってるんですね。特に市長はこのジオパークで推進されていると、ここに東京とい
う国際拠点を入れて、この4大拠点化で構想を進めていただきたいな、できればこの国際ジオパー
クウェルカムセンターみたいな形で、せっかく新幹線の駅があり、ちゃんと高速道路のインターが
あり、工業港でありますけども港もありということで、この4つの連携した、うまく言葉が出ない
んですけども、ジオパークの4大拠点化構想みたいなものでぜひ推進していただきたいんですけど
も、市長はどっちかというところ遠慮がちに捉えられるのかもしれませんが、私は
ずうずうしいものですから、絶対、ジオパークという言葉糸魚川は先に使っているわけですし、
もっとアピールして、その拠点化で国会議員や県会議員の方からも力を借りて、1つのジオパーク
の拠点化というものを大きく打ち出してもいいんじゃないかと思うんですが、その辺の考えいかな
いかなのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。我々糸魚川がジオパーク活動を進めていこうと言った時点から、やはりそれ
を皆様望んでいてくれたんだろうと思いますし、我々もそれを目指してきた部分がございます。で
すからジオパークといったらすぐ糸魚川がイメージで出てくるような活動にしくちゃいけないし、
またそういう普及啓発をしていかなくちゃいけないと思っています。今それに向かって進めさせて

いただいているわけでございまして、よりそういった方向に持っていくように、正式事業化になったら評価が落ちたということにならないように、一生懸命していきたいと思ひますし、今我々1つありがたいなと思ひるのは、世界ジオパークの中でも特に日本の活動というのは非常に評価をいただいております。それはやはり横との連携、今議員ご指摘のように、横とのつながりが非常に高く、そしてまた取り組んでいるところたちは、みんな非常に前向きで捉えておるといふところが1番評価をいただいております。そういった特徴を出しながらアジアや世界に広げていきたいと思ひております。日本の中でも今広がりがつつあるわけでありまひますので、それを今言われまひした島原・洞爺湖・糸魚川と3つがしっかりやらなくちゃいけないんだらうと思ひておるわけでございまひますので、よろしくお願ひしたいと思ひております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

保坂議員。

○6番（保坂 悟君）

時間がないので早口でいきますけども、4番目のジオパークに対する市民の意識向上戦略についてであります。12月3日の新潟日報に検定試験が衰退していくという記事の中で、ジオパーク検定が大健闘しているという記事がございました。中学生の海外派遣事業により、中学生の英語検定とジオパーク検定の受験者数は安定していると認識しております。私はこのシステムは日本一の子どもづくりモデル的な事業であると認識しております。なぜならば、あくまでも任意の取り組みであって、強制でもなく負担軽減も行っている。全ての生徒に平等・公平な形で、この参加の機会を与えており、まさに個人の意志を尊重した個性を伸ばす取り組みであるというふうに思ひております。こうしたシステムをほかの事業とタイアップさせて、市民の意識向上というのを図っていただきたいなと、できましたら今中学生の海外派遣事業であります、小学生バージョン・高校生バージョン・成年バージョン・シニアバージョンのジオパークの派遣事業みたいなものを検討して、仲間づくり、またジオパークガイド、またジオパークのクリエイターみたいなものを輩出していく企画をぜひやっていただきたいなと思ひんですが、ちょっと大きな話になるんですけど、そういった取り組み、いかがなものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

渡辺交流観光課長。〔交流観光課長 渡辺成剛君登壇〕

○交流観光課長（渡辺成剛君）

お答えします。現段階でも、ジオパーク検定には中学生とその保護者が一緒になって受けてらっしゃるといふ光景があります。試験が終わった後に「○○ちゃんできた。お母さんできたよ。」「できた」なんていう会話を中学生がしてくれています。今質問あります中学校の中でも、いろんな親子が触れ合う機会が少ないという中で、このジオパーク検定が一定の役割を果たしているのかなというふうに考えております。それが今後議員ご指摘のように広げられるかどうか、また、わかりませんけれども、そういった視点を持ちながら進めてまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○議長（倉又 稔君）

保坂議員。

○ 6 番（保坂 悟君）

最後になりますけど、糸魚川には 24 サイトがあるということで、小さい子供にはすごろくゲーム・カードゲーム、また小学生・中学生にはジオサイトを紹介する英会話教材で、子供たちが英会話で紹介できるような教材とか、高校生にはジオパーク関連の商品開発などアイデアを募るなど、ジオパークに間接的に学んでもらえるような企画、また楽しく学べる環境整備というものがいいかなと思いますので、そういった取り組みもぜひ積極的に行っていただきたいと思います。それも要望させていただきます。

あと、ジオパークの聖地化であります、市長のこれまでのいろんな努力、また市の職員、市民の努力によってここまで来ているわけですから、何とかこのジオパークの聖地化に向けて努力していただきたいと思いますので、そのことを最後に要望して、私からの一般質問とさせていただきます。

ありがとうございました。

○ 議長（倉又 稔君）

以上で保坂議員の質問が終わりました。

暫時休憩します。

再開を 3 時 25 分といたします。

午後 3 時 11 分 休憩

午後 3 時 25 分 開議

+

○ 議長（倉又 稔君）

休憩を解き会議を開きます。

次に中村実議員。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

○ 議長（倉又 稔君）

中村議員。〔9 番 中村 実君登壇〕

○ 9 番（中村 実君）

創生クラブの中村です。災害対策について 1 回目の質問を行います。

糸魚川市では過去に大きな災害が幾度も発生し、多くの尊い命が失われてきました。最近では防災対策も進み、河川の氾濫や地すべり等も減少してきたと感じています。その災害の中に防災対策や防災訓練の難しい新潟焼山の噴火や大規模地震があります。新潟焼山では 10 月 10 日に避難訓練が行われ、多くの課題も残ったようですが、今後の対策も見えてきたと思います。また大規模地震では津波に対して、避難訓練が行われてきましたが、その他の対策が進んでいないように思います。そこで次の点について伺います。

1、新潟焼山火山災害避難訓練の成果と反省点は。

2、個人住宅の耐震診断・耐震工事の進捗率は。

以上で 1 回目の質問を終わります。